

平成 30 年度未来みやぎ子育て表彰受賞企業

(株)いちごの里、(株)りんごの里の取組

- 1 同社は、デイサービスや住宅型有料老人ホームなど介護福祉事業を運営されており、介護士、看護師など女性が7割近くを占め、子育て中の社員も多い職場であることから、子育て世代を応援し、働きやすい職場づくりが一つの大きな経営理念となっており、様々な取組をされています。
- 2 その中でも、いちごの里に設置された事業所内託児所は、子育て中の社員にとって最も大きな問題の一つとなる「保育」の悩みを解決し、「子育て家庭への応援」について、社員の理解を深める取組となっています。

託児室は2室からなり、5名の保育士が子どもたちの保育に当たっています。託児室とデイサービスの部屋とは隣接しており、夏祭りやクリスマス会など利用されている高齢者の方々との交流会はもちろん、日頃から子どもたちの声が聞こえる環境で、高齢者の方々も元気をもたらしているとのこと。
- 3 託児所の利用料は第1子が1日500円、同じく第2子250円、第3子以降は無料となっており、社員の負担軽減にも配慮されています。反面、会社としての負担が増えるのも事実ですが、子育て世代を応援し、働きやすい職場づくりを重要視する同社の思いが込められています。
- 4 事業所内に託児所があることで、「子育て家庭への応援」に対する社員の理解も深まりました。子育て中に託児所を利用していた人が管理職となり、子育て中のスタッフに配慮しながら、職場全体で支え合い助け合うという意識が自然と共有されています。

子育て中の社員は基本的に8時30分から17時30分の定時シフトで日曜休みの週休二日制となっており、子どもの急な病気などでも早退や、休みを取りやすい職場環境が生まれています。

また、こういった取組の効果は人材獲得においても現れており、人材不足が社会問題化する中であって、子育て支援の充実を理由に就職を希望される方も増えているそうです。